

田原市の公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピール

田原市地域公共交通会議は、地域の実情に応じた公共交通の維持・充実を図るため、平成19年3月に設置されました。平成20年3月には、田原市地域公共交通戦略計画を策定しました。計画では「だれもが安心して移動できるまち」を基本方針として掲げ、多様な移動ニーズに対応し、まちの魅力を高める公共交通の実現を目標としており、公共交通ネットワークの維持・確保及び利便性の向上を図るため、市民・地域・交通事業者等がそれぞれの役割を担いながら取り組んでいます。

こうした中、今般の新型コロナウイルス感染症の影響で、外出や移動の自粛が続いたことにより、市内の公共交通利用者も大幅に減少しています。昨年同月比で見れば、5月は電車で約55%、路線バス・タクシーで約60%、フェリー・高速船で約95%もの利用者の減少がみられます。このままでは、地域の公共交通を支えていただいている交通事業者の事業継続も危ぶまれる状況であり、そうなれば市民の生活にも大きな支障が生じる恐れがあります。

各公共交通機関では、感染防止対策のため、車内・船内の換気・消毒、乗務員のマスクの着用・うがい・手洗いの徹底等、様々な取組を行っていただいています。田原市地域公共交通会議としても、こうした各公共交通機関の感染防止策等の取組を皆様に知っていただくとともに、公共交通を守り利用促進に向けた必要な取組やPRを市とともに実施してまいります。

地域の皆様には、日常生活における重要なインフラでもある公共交通の大切さをご理解いただき、感染防止にご留意したうえで、電車、バス、タクシー、フェリー、高速船等の公共交通を積極的に利用していただくようお願い申し上げます。

また、国及び愛知県に対しましては、こうした地域の窮状をご理解いただき、持続可能な公共交通の維持確保のために必要な支援を速やかに実施していただきたく、緊急アピールを宣言いたします。

令和2年7月8日

田原市地域公共交通会議

会長 鈴木正直